

	北波多小学校 学校だより38号	<b>北波多小だより</b>	令和8年3月11日発行 文責 校長 川原 悟
---	--------------------	----------------	---------------------------

## 卒業式の練習が始まりました！

18日(水)は、第139回北波多小学校の卒業式です。これまで延べ12,985人の卒業生が北波多小学校を巣立っていきました。いよいよそこに6年生が名前を刻む番となります。卒業ということをまだまだ意識できていなかった6年生も、今週から本格的に卒業式の練習が始まるため、少しずつ実感し始めるのではないかと思います。



卒業を前に、6年生は立鳥運動として、パソコン室や展望室等の校内の掃除を中心に取り組んでいます。それ以外にも思い出の学校へ感謝の気持ちを込めて活動してくれています。6年生の皆さん、ありがとうございます。

卒業式では、これまでの思い出が不思議と蘇ってくるものです。楽しかったことや頑張ったこと、辛かったことや悔しかったこと等、全てを含めて思い出として。それは、卒業生だけに限らず、式に参加した全員が感じるものだと思います。嬉しくもあり、寂しくもある卒業式ですが、立派な式となるようみんなですっかり準備していき。6年生を送り出したいと思います。

## 東日本大震災から15年

今日は、東日本大震災が起こった3月11日です。

“いったい何が起こっているのか…”。

うまく事態を呑み込めないままテレビに映し出されていた信じられない光景を見ていた記憶が15年経った今でも鮮明に蘇ります。死者15,901人、行方不明者2,519人、震災関連死の方も含めると2万人を超えます。さらに、今もお避難されている方が26,281人という数は、未曾有の大災害であったことを物語っています。



子供たちには、全校放送でこの東日本大震災のことについて簡単に触れて話し、全校で黙とうを行いました。この震災により犠牲となられた全ての方々に対してご冥福をお祈りいたします。

地震や大雨、猛暑や感染症など、いつどこで、どのような災害が起こるか予測することは困難です。これまでの災害を教訓に不測の事態に備えて、情報収集と対応策、そして訓練を日頃から意識し、取り組んでおくことの大切さを改めて見直した日となりました。

これを機会に御家庭でも防災について話し合ってみたり、備えている防災グッズが本当に使えるか見直したりする機会にされてみてはいかがでしょうか。